

## 植物多様性センターの「コウボウシバの多様性?」

コウボウシバは海岸の砂浜に見られるスゲのひとつです。東京都では絶滅危惧植物ですが、種子がコルク質の果胞に包まれ海水に浮くため、太平洋を囲む広い地域に分布があります。通常、花はスゲ属に多く見られる雄雌性で、一番上の頂小穂が雄性で、基部に柄のある雌性の小穂をつけます。学習園で見られる個体の中には、頂小穂の一部が雌性になるものがあり、スゲ属の個体の変異の大きさを観察することができます。



雄小穂：葯が開いて花粉を出し  
終えた頂小穂



雌小穂：3つに分岐した白い柱頭が目立つ開花期の状態



雄小穂の先端の雌花が受粉し  
果胞がふくらんだ個体



頂小穂の先と基部の雌小穂の  
果胞がともにふくらんだ個体